

道徳科学習指導案

指導者 吉岡 慶佑

- 1 学 年 第3・4学年 11名
- 2 日 時 令和5年1月27日（金）第5校時
- 3 主題名 「長所をのばす」（A 個性の伸長）
- 4 本時のねらい

得意ではない長距離の練習を、諦めずに続けた「わたし」がすぐ諦める性格を変えようと努力したその気持ちを考えることを通して、自分の苦手なことや短所を克服していくことの大切さに気づかせ、長所を伸ばすために努力していこうとする態度を養う。

- 5 教材名 「つくればいいでしょ」（日本文教出版）
- 6 主題設定の理由

（1）主題観

個性の伸長は、自分のよさを伸ばし、調和のとれた自己を形成していくことである。自分の特徴をよい方向へ伸ばしていけばそれは長所となり、苦手なこととして改善を図らなければ短所となっていく。短所や不得意なことであっても、しっかりと受け止め努力することで、望ましい方向へ改め、自分のよさをさらに伸ばしていくことができる。児童が自分の特徴についてよく考え、自分の力でできることに精一杯取り組むなかで個性を自覚し、伸長しようとする態度を育てることが大切である。また、長所も短所も自分の特徴であるため、自分と向き合い続けることで、人は成長していくことができる。

（2）児童観

本学級の児童の多くは「計算が苦手」や「走ることが苦手」など、自分の弱さやしんどさを素直に伝えたり、相手の気持ちや思いを受け止めたりすることが出来る。

本学級の児童を対象にした児童生徒等の意識調査（道徳アンケート12月実施）によると、「自分にはよいところがあると思う」の項目については、肯定的評価をした児童の割合は100%（11人/11人中）である。4月の調査では、90%であったので、自己肯定感は高まっていると考える。

しかし、実態として自分の長所が何かと聞かれたときに、すぐに答えることが出来ない児童が多い。また、「勉強が得意」や「運動が得意」など、外面的な長所には気づいているが、「粘り強く取り組むこと」や「誰に対しても優しく接すること」ができるといった内面的な長所に気づいている児童は多くない。

（3）教材観・指導観

本教材の主人公「わたし」は、クラスのみんなが自分の長所や短所を見つけていく中で、自分の長所が見つからず、満足できずにいた。母からは「つくればいいでしょ。」と言われる。そんな中、友人と長距離走の練習を始めた「わたし」は、自分の短所の「すぐ諦める」性格を変えたいと思って練習をやめずに頑張る。「わたし」が、自分の短所と向き合い長所を見つけていく姿を通して、長所は

努力によって見つかるものでもあること、短所を克服することも長所を伸ばすことにつながることに気づかせ、自分のよさを伸ばそうとする態度を養うことに適した教材である。

指導に当たっては、はじめに、「長所がみつからなかった『わたし』は、どんな気持ちでしょう。」と問い、長所が見つからず悩んでいるわたしの状況を捉えさせ、共感させる。次に、「『わたし』が長距離の練習をやめなかったのはどんな思いからでしょう。」と問う。苦手なことからつい逃げてしまいたくなる「わたし」の気持ちに共感させた上で、それでもなお努力を続けた「わたし」の思いを考えさせる。ここでは、自分の短所を認め、克服しようとすることは、長所を伸ばすことと同じくらい大切であることに気づかせる。次に、「お母さんに『つくればいいでしょ。』と言われたことが、『わたし』にはどう分かってきたのでしょうか。」と問い、「苦手なことでも頑張ればできるようになる。」や「長所はつくることができる。」などの本時のねらいに迫る言葉を引き出す。ここでは、話し合いがより活発になるように、３年生と４年生混合でのグループ活動を仕組む。教師は机間指導を行い、グループでの話し合いの支援を行ったり、全体交流に向け児童の発言を把握したりする。その後の全体交流では、ジャムボード内の児童の発言を板書で分類・整理したり、切り返し発問をしたりして、考えがより深まるようにする。また、実際に教師が苦手なことでも諦めずに続け、短所を克服した経験、長所を見つけ伸ばした経験を話すことで、誰にでも長所はあることを押さえる。

終末には、導入時の本時の考える視点を再度提示し、授業を通して考えたことを一人一人道徳ノートにまとめ、振り返らせる。

7 カリキュラム・マネジメントの取組

- ４年生は、総合的な学習の時間「10 才の今を見つめよう」の学習と結びつけ、今の自分と将来の自分について作文にまとめたことを交流する。
- ３年生は、３年生になってできるようになったことを作文にまとめ、交流する。

8 本時の展開

(1) 準備物 教科書の挿絵、短冊

(2) 本時の学習展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入 5分	① 本時で学習するテーマを捉える。	自分の良いところはどんなところですか。 ・外でよく遊ぶところ。 ・だれとでも話せるところ。 ・算数が得意なところ。 考えよう 長所を伸ばすには、どんな考え方が大切なのだろう。	○道徳アンケートの結果を提示し、自分には良いところがあるという子供の意見を確認する。また、「自分の良いところを伸ばしていつていきますか。」と問い、良いところをどのように伸ばしていくのかという本時の考えように繋げる。
展開 25分	②教材「つくればいいでしょ」を読んで考え、話し合う。	長所が見つからなかった「わたし」は、どんな気持ちでしょう。 ・わたしの長所ってなんだろう。 ・短所はたくさんあるけれど・・・ ・みんなはいいところがたくさんあるな。 「わたし」が長距離の練習をやめなかったのはどんな思いからだろう。 ・自分の短所の「すぐ諦める性格」を変えたかったから。 ・走ることがなんだか気持ちよくなってきたから。 ・愛子さんと同じように走れるようになってきたから。 ・少し自信がついてきたから。 お母さんに「つくればいいでしょ」と言われたことが、「わたし」にはどう分かってきたのでしょうか。	○挿絵を見せながら、友達の長所はたくさん見つけられるのに、自分自身の長所が見つけられず悩んでいるわたしの状況を捉えさせ、共感させる。 ○苦手なことからつい逃げてしまいたくなる「わたし」の気持ちに共感させた上で、それでもなお努力を続けた「わたし」の思いを考えさせることを通して、自分の短所を認め、克服しようとすることは、長所を伸ばすことと同じくらい大切であることに気づかせる。 ○長所は誰にでもあることや、苦手なことでも続けていけば克服できることなどの私の変容に気づかせ、本時のねらいに迫る言葉を引き出す。

		・苦手なことでも頑張れば、できるようになる。 ・努力をすることで長所になる。 ・長所は自分でつくることができる。 ・走ることに自信がなかったけれど、自信を持てるまで続けてきてよかった。 ・これからも長所を見つけたり、増やしたりしていきたい。	○話し合いが活発になるように3・4年生混合のグループを仕組み、各班でジャムボードに書いて発表させる。 ○長所をつくることは楽ではないが、苦手なことでも諦めずに続けていくことで、長所はつくることができることを押さえる。 ☆人は成長できるのだということに気づいているか。 (ジャムボード・発言) ○教師が実際に短所を乗り越え、自信を持った経験を話すことを通して、誰でも長所はつくれることを再度押さえる。
終 末 15 分	③本時の学習から、これからの自分に生かしていきたいことを考える。	長所を伸ばすためには、どんな考え方が大切だと思いますか。 ・短所でも続けていけば長所に変わる。 ・あきらめずに頑張ればもっと成長できる。 ・努力することで、短所を克服できる。 ・長所は誰にでもあるし、自分にはいいところがたくさんある。 ・長所はつくれることを知ったから、長所をつくってみたい。 ・もっとみんなで長所を伸ばしていきたい。	○振り返りの視点を提示し、一人一人道徳ノートで振り返りを行わせる。 ○この時間だけで長所が見つからないことがあるため、これからも長所を見つけながら過ごしてほしいという教師の願いを伝え、授業を終える。 ☆長所を伸ばすための考えを持つことが出来ているか。 (道徳ノート・発言)

9 板書計画

題名

つくればいいでしょ

考えよう

長所を伸ばすには、どんな考え方が大切なのだろう。

長所が見つからない「わたし」

場面絵①

- ・わたしの長所ってなんだろう。
- ・短所はたくさんあるけれど・・・
- ・みんなはたくさん長所があつていいな。
- ・つくればいいでしょって言われても・・・

長距離の練習

はじめ

- ・親友の愛子さんとできる。

と中

- ・苦しい、やめたい

三か月後 短所をこくふく

- ・少し自信がついてきた。
- ・自分の長所を見つけた気がした。
- ・走っていると気持ちがいい。



「つくればいいでしょ。」

- ・苦手なことでも頑張れば、できるようになる。
- ・長所は作ることができる。
- ・走ることに自信がなかったけれど、自信が持てるようになった。
- ・これからも長所を見つけたり、増やしたりしていきたい。

長所をのばすためには

- ・短所でも続けていけば長所になる。
- ・長所は誰にでもあるし、自分にはいいところがたくさんある。
- ・長所はつくれることを知ったから、長所をつくってみたい。
- ・もっとみんなで長所を伸ばしていきたい。